



加印原水協がんばる！ 初詣とトンド祭で100筆以上も！



☆加印原水協（稲田会長）は、新年早々、市内各所で「ヒバクシャ国際署名」を呼びかけ大きな反響。1月5日、「国際署名を進める高砂の会」と共同で15人が参加して初詣でにぎわう鹿島神社で訴え。署名がドンドン集まり114筆に。1月14日には朝9時から、高砂市の小学校での「どんと祭」で6人が訴え113筆が寄せられました。

☆姫路市原水協は、年末の「第九演奏会」前で訴え100筆以上の署名。「イベントに合わせて訴えると署名が集まる」と自信を深めました。

小林愛子さん3200筆超えで張本選手の記録を「更新」

☆元プロ野球選手・張本勲さんの姉、小林愛子さん（加古川市在住）は、昨年末までに集めた署名が3200筆を越えました。張本氏が現役時代に達成した安打日本記録3085本を上回ったことを電話で伝えると、「お姉さん、アップした」と喜んでくれたと報告がありました。



神社庁事務所にも署名用紙

☆県被爆者の会は、今年7日と24日、ヒバクシャ国際署名の要請に宗教関係団体を

訪問。兵庫県仏教会では事務局長篠原秀典さん（西宮の圓滿寺住職）が「この趣旨には誰でも賛成でしょう。常任理事会、理事会に報告して相談しましょう」。訪問した日本基督教団兵庫教区やカトリック教会ではローマ教皇の長崎・広島でのスピーチがどこでも関心の的。特に西宮市の会武居会長が、教皇に会うために広島まで行ったこと、ニューヨークでの世界大会に署名を届けに行くことなどが話題になりました。神社本庁（湊川神社）は、改憲推進の「日本会議」本部が置かれています。事務所前には、日本会議機関誌『日本の息吹』や自民党国会議員チラシ、「建国記念日」祝賀パレードや自衛隊PRチラシなどと並んで「ヒバクシャ国際署名」用紙が置かれています。日本最古の回教寺院の神戸ムスリムモスク（神戸市中央区）では、応対したムハマド・ジャファルさんらは、「アメリカ力が核兵器で脅かすなかでそれへの対抗という考えもあるのでは」などと質問。「すべての核兵器をなくすしかない」と訴えると大きくうなずき、「イスラムは平和の宗教です」と強調され検討を約束。兵庫県看護連盟（自民党支持の政治連盟。前回、看護協会を訪ねるつもりで間違っ訪問）も再訪。非常に好意的で、「役員だけでも署名を回す」ことを約束してくれました。

